



5 本 時 第5校時 音楽室

6 本時の目標

- 「ボレロ」の演奏を鑑賞することで、オーケストラの楽器や管弦楽演奏に興味・関心をもたせる。

7 本時指導の考え方

- 鑑賞の授業においては、常に生徒と共に楽曲の鑑賞をするという姿勢をとりたい。このような名曲に接することができることの感動を生徒と共有したい。評価のための様相観察や視聴中の必要のない教師の動き等は極力避け、鑑賞後のワークシートの書き込みの内容を中心に評価を行う。

8 準 備

- ・楽曲のDVD（シャルル・デュトワ指揮 NHK交響楽団演奏）
- ・主題A・Bをフルートで紹介する準備（ブラスバンド部員）
- ・「ボレロ」のリズムを書いた掲示物
- ・スネアドラム1台・スティック2組
- ・鑑賞用ワークシート

9 本時の展開

配時	学習活動・内容	指導上の留意点	集団づくりを生かす手だて	評価規準 《評価の方法》
5	1 楽器紹介 ・主題A・Bを聴取し確認をする	・事前にフルートの準備をさせておく	・楽しい雰囲気づくりに気を配る。	鑑：指揮者や演奏者たちの変化・楽器の特徴を感じ取ることができる。 《ワークシート》
10	2 ・「ボレロ」のリズムを聴取し、叩いてみて確認する。	・各自机を叩き確認 ・実際にスネアドラムを叩かせる。 指名又は挙手	・友達が叩けても叩けなくても、全員で盛大に拍手してあげる。	
5	3 ・ワークシートの記入について確認。	・画面がよく見える位置まで生徒を適当に移動		
15	4 「ボレロ」を鑑賞する	・鑑賞する時は、画面に集中させる。		
10	5 ワークシートに記入する			
5	6 意見発表を行う	・観点にそって発表させる。	・友達の考えをよく聞き、新たに気付いた点があれば付け加えさせる。	